



広げる・伝える・極める

森づくりミーティング 森からはじまる LIFE&WORK

主 催 静岡県／公益財団法人静岡県グリーンバンク

2022年

1/19

(水)

10:30～16:00

=ODEN

(イコールオデン)

静岡市葵区鷹匠2-8-10

※ 10:00開場

オンライン参加
ZOOMアドレス



ミーティングID :
837 6735 7543
パスコード : 879914

◆午前の部◆

10:30 開会

開会挨拶 静岡県環境ふれあい課 課長 片田 哲利
趣旨説明 班長 橘川 渉

10:45 広げる

講演『みんなで交ざり合う森のトンガリ実験場
「morinos」の挑戦』 (資料P 4 ～ 8)

講師：NPO法人ホールアース研究所 理事
岐阜県立森林文化アカデミー
森林総合教育センター morinos 担当
大武 圭介 氏

12:00 休憩 (60分)

終了後、アンケートへの回答を
お願い致します。
オンライン回答もOK！



◆午後の部◆

13:00 伝える

講演「森と暮らしをつなげる
ローカルメディアの役割」 (資料P 9 ～ 17)

講師：NPO法人 森ノオト理事長
北原 まどか 氏

14:15 休憩

14:30 極める

事例発表 (資料P 18 ～ 25)

- 地域の古道再生がローカルビジネスに
西伊豆古道再生プロジェクト 松本潤一郎氏
- 継続は力。身の丈活動が地域を変える
滝谷里山保全の会 佐藤政美氏
- 異業種がめざす持続可能な林業活動
熱海キコリーズ 能勢友歌氏

16:00 閉会

16:00 ～ 17:30 (会場にて) 交流会

<講師紹介>



【午前】大武 圭介 氏

NPO法人ホールアース研究所 理事
岐阜県立森林文化アカデミー
森林総合教育センター morinos 担当

1973年愛知県生まれ。筑波大学大学院を中退後、高山市の民間自然学校を経て、2001年岐阜県立森林文化アカデミーに1期生として入学。地域計画・環境教育等を学ぶ。2003年よりホールアース自然学校所属。18年間にわたり、静岡を拠点に神戸・岡山など各地で自然学校の立ち上げ・運営に関わる。母校に2020年にできたmorinosで、NPOの立場で様々な「実験」を日々画策。モットーは「永遠に未完成」。

【午後】北原 まどか 氏

NPO法人森ノオト 理事長

横浜市青葉区で、「地域や自然と調和した社会と、その担い手を育てる」という理想を掲げ、「暮らしの足元から地域を編集し、一步を踏み出すきっかけをつくる」ことを使命に、仲間とともにNPO法人森ノオトを運営している。
市民ライターを育成し、メディアを軸に地域と人をつなげている。著書に『暮らし目線のエネルギーシフト』（コモンズ、2013年）。

【午後】松本 潤一郎 氏

西伊豆古道再生プロジェクト 代表
株式会社 BASE TRES（ベーストレス）代表

17歳から海外を旅し、ペルー・ヒマラヤ・アンデスの「Ancient Trail」古道を踏破。
旅費を蓄えに日本に戻ったとき、伊豆の炭焼き達が行き来していた古道の存在を知ったのがすべての始まりとなる。再び古道を拓き、マウンテンバイクルートを開設。トレイルツアーを主催。

【午後】佐藤 政美 氏

滝谷里山保全の会 代表

藤枝市在住。趣味の山中ランニングの道中、荒廃した河川の様子に心を痛めたことがきっかけで森林整備活動に発展。滝谷地区出身ではないにも関わらず、正面から地権者の信頼を得る。地域の人と街の人を結び、多くの支援者やイベント参加者と森を結んでいる。

【午後】能勢 友歌氏

NPO法人 熱海キコリーズ理事長

平日は東京のマーケティング企業でプランナーとして勤務。週末はキコリとして、熱海の森林整備や森を伝えるさまざまなアクションを起こしている。
メンバー全員が本業を持ち、SNSで情報共有をしながら楽しく、かつ「熱海のために」から軸を外さず柔軟に活動を展開している。

＜対策のポイント＞

森林の多面的機能の発揮とともに、関係人口の創出を通じた山村地域のコミュニティの維持・活性化を図るため、**地域住民や地域外関係者等から構成される活動組織が実施する森林の保安全管理、森林資源の活用を図る取組等を支援**します。

＜事業目標＞

- 各支援メニューごとに設定された森林の多面的機能の発揮に関する目標を達成した活動組織の割合（8 割〔令和 8 年度まで〕）
- 地域外からの活動参加者数（関係人口を含めた活動への参加者数）が増加した活動組織の割合を毎年度増加

＜事業の内容＞

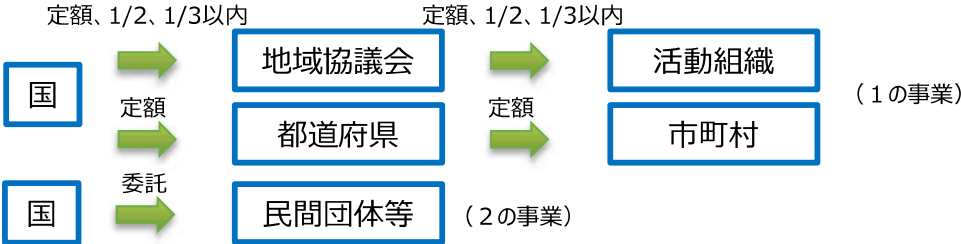
1. 森林・山村多面的機能発揮対策交付金 1,393 (1,393) 百万円

- ① 地域住民や地域外関係者（関係人口）等による 3 名以上で構成する**活動組織が実施する里山林の保全、森林資源の利活用等の取組を支援**します。
 - ② 里山林の保全等（メインメニュー）の活動に組み合わせて実施する、**路網の補修、関係人口の創出・維持等の活動（サイドメニュー）**を支援します。
- ※ 荒廃農地の林地化に係る森林管理を行う場合は、新たに**優先的に支援**します。

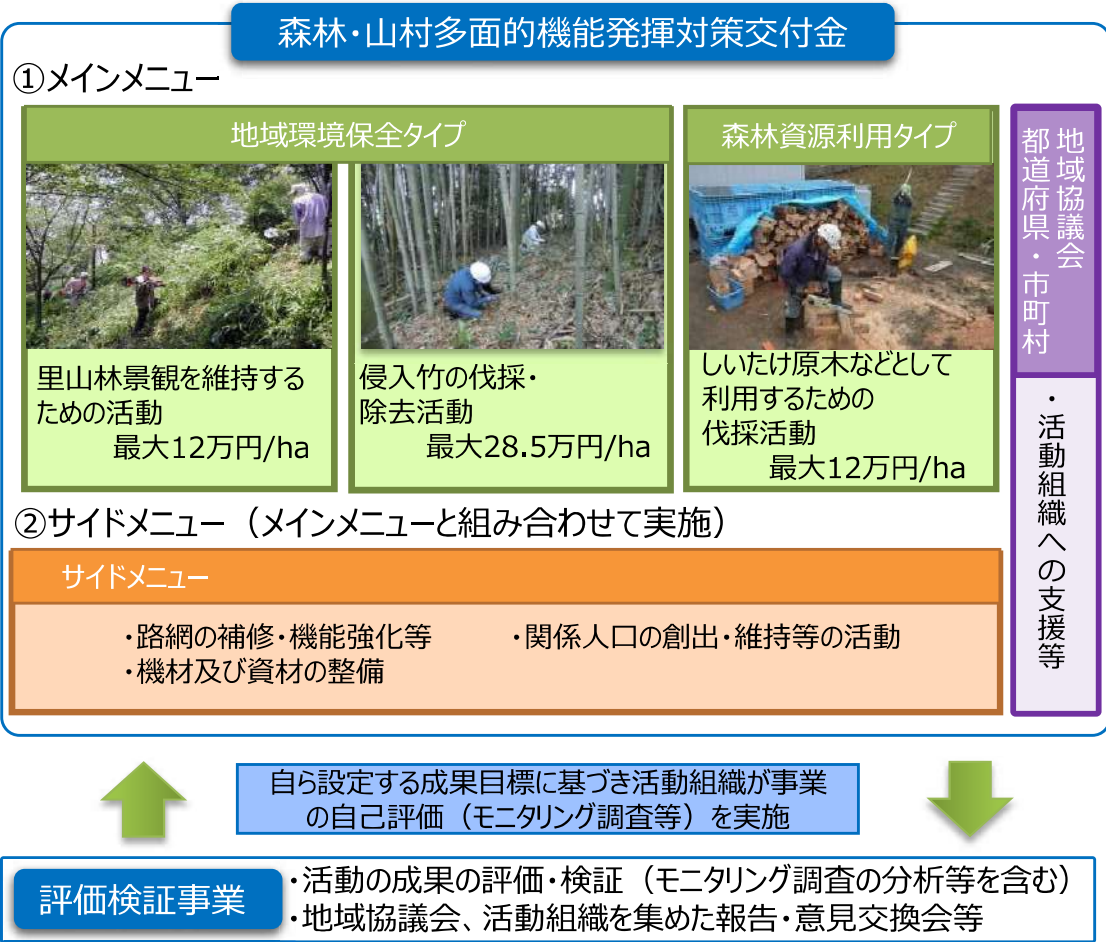
2. 森林・山村多面的機能発揮対策評価検証事業 15 (11) 百万円

- ① 森林・山村多面的機能発揮対策交付金による**活動の成果を評価・検証**します。
- ② 地域協議会、活動組織を集めた**活動内容の報告・意見交換会等**を開催します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞



森林サービス産業 Forest Styleラボ

「農山漁村発イノベーション」
による森林サービス産業の推進
～異業種・複数分野が連携した、多角的な森林活用～



日時：令和4年2月2日（水）13:30～17:15 オンライン
主催：Forest Styleネットワーク事務局（林野庁森林利用課）
（公社）国土緑化推進機構
内容：関係予算（農林水産省、林野庁）
事例発表、ディスカッション
グループ相談会

森林サービス産業 マッチング・プラットフォーム
<https://forest-style.jp/bizmatch/>



「富士山ヘルスツーリズム」 モニターツアー開催レポートと今後の展開

令和3年12月の企業の健康経営等に向けたモニターツアーの開催報告会

日時：令和4年2月13日（日）13:30～16:00 オンライン
主催：NPO法人猪之頭振興協議会

- 自然を活かしたオプティマム・ヘルスの提案
～ 従業員の予防健康づくりに向けて
（朝霧高原診療所医師／日月倶楽部オーナー 山本竜隆氏）
- モニターツアー実施概要
（NPO法人猪之頭振興協議会 植松政臣氏）
- 森林を活かした予防・健康づくりの可能性
～モニターツアーのエビデンス
から見たこと
（森林総合研究所 高山範理氏）



事務局：
NPO法人ホールアース研究所
<http://wens.gr.jp/>



里地・里山をみらいにつなぐためにー 生物多様性の今を知る

日時：令和4年2月7日（月）13:00～16:00
主催：静岡県環境ふれあい課
会場：猪之頭区民館（富士宮市）・オンライン
内容：

- 里地・里山保全活動におけるポイント
（静岡大学 小南陽亮氏）
- 小さな自然再生の事例・ポスト愛知目標
に関する最新の動向
（兵庫県立人と自然の博物館 三橋弘宗氏）



申込みチラシ（環境ふれあい課HP）
<http://www.pref.shizuoka.jp/kankyoku/ka-080/mori/hikken/ivent12.html>



森からはじまるLIFE & WORK ～広げる

子どもも大人も、企業も行政も。みんなで交ざりあう
森のトンガリ実験場『morinos』の挑戦



2022年1月19日

NPO法人ホールアース研究所理事／岐阜県立森林文化アカデミーmorinos担当 大武圭介

はじめに自己紹介...大武圭介



- 1973年 愛知県生まれ。48歳、大学農学部で森林、環境問題を学ぶ。
- 1998年 25歳 岐阜県の自然学校入社。高山で3年間の下積み経験。
- 2001年 28歳 岐阜県立森林文化アカデミー入学(第1期生)
環境教育、地域づくりを専門に学ぶ。
- 2003年 30歳 ホールアース自然学校に入社
NPO法人で地域づくりに携わることを目指す。
- 2009年 36歳 神戸で六甲分校の校長として着任(5年)
官民協働でのエコツアープログラム開発、行政との協働
- 2016年 43歳 富士市立少年自然の家所長として活動(4年)
40年以上直営だった社会教育施設で、初の指定管理者へ移行
- 2019年 46歳 岐阜県立森林文化アカデミーで、森林総合教育センター
(愛称: morinos=モリノス)の立ち上げに関わる。
- 2020年 47歳 morinosオープン
現在 **官民協働で「新たな森の入り口(実験場)」づくりに奔走中。**



1. 2001年開学。「森林と人との共生」が基本理念
「地方自治型自由学校」というキーワードが印象的だった。
2. 前身は岐阜県立林業短期大学校
1971年開校。30年余りの間、600人を越える卒業生を輩出した。
3. アカデミーには3つの部門がある ①専修教育(2年制)、②専門技術者教育、③生涯教育→morinosへ
4. 専修教育には2つのコースと、4つの専攻がある
①森と木のクリエイター科(22歳以上) 20名
「林業専攻」「森林環境教育専攻」「木造建築専攻」「木工専攻」
②森と木のエンジニア科(高卒相当:18歳以上) 20名
5. これまでに800名弱の卒業生を輩出。各地で活躍中。
1期生の同期は、建築事務所主宰、木工工房運営、美濃市林政アドバイザー等。卒業生がアカデミー教員にもなっている。



morinos(モリノス)って何？

- 2020年7月オープン。正式名称は「森林総合教育センター」
- 愛称は「morinos」(森の巣が由来)
- 「すべての人と森をつなぎ 森と暮らす楽しさと
森林文化の豊かさを 次世代へ伝える」がコンセプト

百聞は一見に如かず
動画でmorinosを紹介します



morinosが大切にしている5つのこと

1. 「学ぶ」ではなく「感じる」
0を1にする。頭ではなく心から
2. 「部分」ではなく「全体」を
森を多面的に見る つながりを意識する
3. トンガリわくわく実験場
前例気にせず「いいね! まずはやってみよう」
4. みんなで一緒につくる
プロセスを大切にしながら 参加者と一緒に ゆっくりつくる
5. 臨機応変・柔軟に変化し続ける
作り込まない 固めない 今ここの流れに合わせる



岐阜県立の教育施設です!
「森の巣」でなく「morinos」としたのも、ある意味「何それ?」という興味を引くきっかけに。



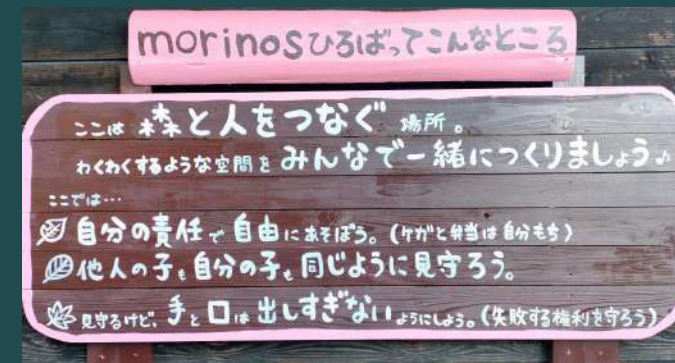
morinosの「ここが変!?だよ」

1. 「変人」が多い
変人=「変わった人」「変える人」「変わる人」



morinosの「ここが変!?だよ」

2. 「ルールを決めない?」 自由は不自由!?



<これだけはお願い!>

- * 火を使う時は、必ずスタッフに声をかけてください。
- * 飲酒・喫煙はご遠慮ください。
- * ペットの持ち込みはご遠慮ください。
- * もちろんゴミは、すべて持ち帰ってください。

2022年1月時点



morinosの「ここが変!?だよ」

3. 「ここは一体どんな場所？」 定義しづらい場所...

＜これまで寄せられた声、つぶやき…＞

- * 公園じゃないんですか？
- * グランピング／BBQはできますか？
- * 子育て支援センターかと思いました。
- * ありそうでない場所ですね。
- * 「意識高い系」でないと来づらい…。

オープンして1年半ほど。
スタッフ自身でも、まだまだ模索中。
来館者の声も聴きながら、さらに変化を。



morinosでの様々な連携実績

1. 企業との連携実績

＜清水建設株式会社＞

『はだしの広場』

morinosの周りに芝生を張り、はだして歩いて森への
一歩を促そうという取り組み。

＜住友林業株式会社＞

『morino de van プロジェクト』

森林教育プログラム教材をバンに積んで、出前で
学校等へプログラムを提供する取り組み。



morinosでの様々な連携実績

2. 地域（公教育機関）との連携実績

＜公立保育園・こども園等＞ 多数

『関市公立保育園の自然体験支援』

美濃市の隣、関市の公立保育園10園に対して、
指導者の派遣、保育士への研修、園児の受入等を実施。



＜公立小学校／特別支援学校＞ 多数

『東濃特別支援学校の森林体験』

中学部の生徒の森林体験活動の支援ならびにフィールド
整備のサポート。



morinosでのトンガリ実験の例

森林×〇〇で、新たなターゲットに来てもらうきっかけづくり

＜森林×馬＞

『馬もりプロジェクト』

馬搬の実演と共に、馬が運び出した
木材を使ったオブジェづくり。



＜森林×リラックス＞

『ハンモックづくり』

紐から編んでマイハンモックづくり
森の中でリラックスできる道具を
自分で作り、実際に使ってもらう。





morinosでのトンガリ実験の例

森林×〇〇で、新たなターゲットに来てもらうきっかけづくり

<森林×スポーツ>

『リラックス・ラン』※森の中でリラックス&時々ラン
トレイルランニング愛好者を想定した、アクティブな
人を森へいざなう機会に。



<森林×音楽×星空>

『星空ピアノ』
星空を眺めながら、ごろ寝しプロの
ピアノ生演奏を聴く。森の興味の
あまりない人が多数参加した。



morinosの特徴・ユニークなチャレンジ

- 母体となっている森林文化アカデミーの存在は大きい。林政部の所管だが、教育機関として設置されており、森林空間まで含めた教育での利活用が20年に亘って続いている事例は国内では稀有。
- 開学20年を機に、改革案として新たな「交わり場」morinosを創ったことは、アカデミー内部にも一定のインパクトを与えている。また、様々な賞を受賞し、メディアへの露出も増えた。



JAPAN WOOD DESIGN 賞 2021



グッドライフアワード実行委員会特別賞
(子どもエンパワーメント部門)



morinosの特徴・ユニークなチャレンジ

- 森へのアプローチを探る際に大切なのは「楽しい」「気持ちいい」「面白い」といったポジティブなイメージ発信。行政は情報発信が上手と言われることが少ないが、プロセスを含め、質の高い映像を制作して動画配信し続けている。
- 岐阜県直営だけでなく、NPOへの委託、民間の連携団体との協働実施など、複数の方法でプログラムを実施。また、オープン前から「試行プログラム」を多数実施して、ブログ・映像等で情報発信を行った。負担軽減だけでなく、多彩なプログラム実施、民間団体の育成といった側面がユニーク。



morinosの悩み、困りごと

1. どんどん忙しくなっている！
依頼や相談は増える一方。スタッフ体制は変わらないのに...
2. 柔軟に動けない！
なんだかんだいっても、県立＝行政機関なので...
3. 持続的な運営体制がまだ描けていない！
将来的には独立運営を目指すと言っているけど...

委託、指定管理、パートナーシップ、
運営の仕方についても、新たなトンガリ実験が
できるのか？



morinosのこれから...



- 永遠に未完成と思い、小さな渦を創り続ける。
- 子どもだけでなく、大人も遊びながら学ぶ場が必要
- 全国各地で、morinosのような「変わった交ざり場」ができると嬉しい...



『やがて みんなの morinosになる』
こうして、今日、この場でNPO所属の自分がmorinosを
語っていることこそ、ユニークの象徴かも。
morinosでお待ちしております！





森と暮らしをつなげる ローカルメディアの役割

静岡県くらし・環境部 令和3年度森づくりミーティング
森からはじまる LIFE & WORK

NPO法人森ノオト 理事長 北原まどか
2022.1.19.Wed

※このレジュメの無断転載、配布は堅くお断りいたします

自己紹介

NPO法人森ノオト 理事長北原まどか

山形出身、大学時代にライフヒストリー研究をしたことがきっかけで、「個人の人生に時代や社会や環境が内包されている！」と、ミクロなメディアを志す。タウンニュースの記者、エコ系ライフスタイル雑誌編集者、環境ライターを経て、2009年、長女出産をきっかけにローカルウェブメディア「森ノオト」を創刊。現在、NPO法人森ノオト理事長として、ローカルライターの育成や市民団体の発信力UP支援、持続可能なまちづくりに取り組む。ゼロ→イチが得意な開墾系。運動神経は鈍いが中身は体育会系で、動くことで道が拓けると信じている。



雑誌編集者時代に
取材で全国の森や
水源を歩き、
川上から川下まで
つながる家づくりの
大切さを学びました



森ノオトについて

団体のビジョン（理想）とミッション（使命）



- ・ 私たちの理想（ビジョン）
「地域や自然と調和した社会と、その担い手を育てる」
- ・ 私たちの使命（ミッション）
「暮らしの足元から地域を編集し、一歩を踏み出すきっかけをつくる」

2009年より
ローカルメディアを
運営しています
100人以上の市民ライ
ターを育成！





Special Issue 2021/02/01

みんなで話そう<お金と暮らし>

コロナとともに生じた2020年を振り返ると、暮らし方の大きな転換点になったように思います。この年に森ノオトに加わったライターが中心となって送り出す特集のテーマは「お金と暮らし」。業界簿から見える暮らし、働き方、資力の考え方、文化とお金……。直球も変化球も送り交ぜて、お金から私たちの暮らしを見つめ直してまいりました。

くらす
お金の使い方から暮らしを再発見！
家計簿つけてみませんか？

written by
神前信代 2021/01/26

私は結婚してから家計簿をつけはじめ、現在6年目になります。結婚、新生活、妊娠出産、子育て、仕事復帰、引っ越しと、さまざまなライフイベントを経てその収入と支出の変化が家計簿から読み取ることができるようになりました。私は税理院、会計の仕事をしているため、わが家の家計簿



くらす
夫の離職と出産、2
家改革。～お食が
家族のあり方～
written by
松田朋子



くらす
忍者の経営術〜コロナ禍で決
断した、3代続く酒造業の事
業転換〜
written by
小池和郎



くらす
いかに思いを伝えるかが成功の鍵！？クラファンの舞台裏を聞いてみました。



寄付ってなんだろう？ 子どもと考
える未来へのお金の託し方

written by
平塚吉南海子

2021/01/13

寄付月間と坪井は12月に、森ノオトでは寄付に
関わった取材もあり、NPO寄付会員の仕
組みを垣見する。あらためて「寄付」と向き
合う時間をつくりました。わが家でも、寄付体
験を子どもと共に共有しよう、小2の息子と一緒に
寄付先を考えるところにチャレンジしました。



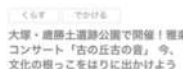
くらす まなぶ
お金ってなんだっけ？ 絵本や
物語から考えるお金のこと
written by
山田祥子
2021.03.11



新しいお金の使い方、クラウドファンディング。～最強の伴走者！FAAVO横浜取材して～
written by
www.faaavo.com



くらす
助け合いの気持ちはお金以上の
価値がある！「たまプラー
ザのまちのコイン」
written by
岸原敬子



written by
松岡ともこ

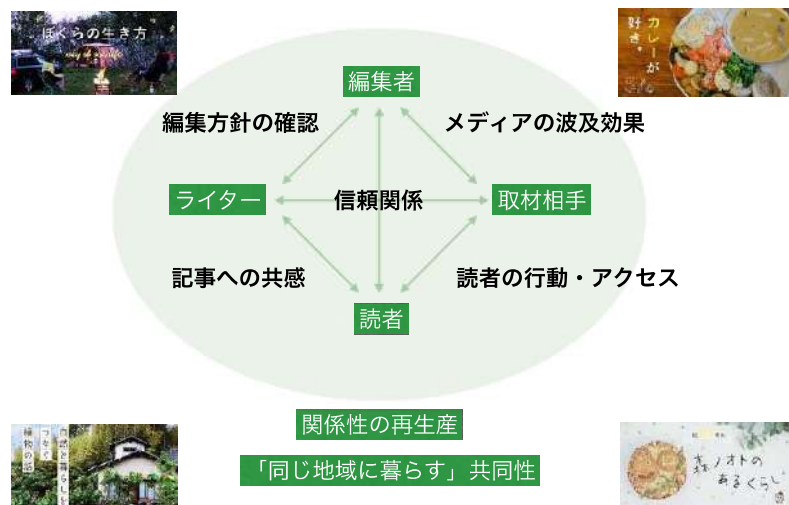
2020/10/10

横浜市宮地下鉄・センター北駅から徒歩10分ほど、弥生時代の集落の様子を残す大塚・横山土曜公園。この公園内で10月31日（土）に企画のコンサート「古の丘の音」が開催される。コンサートのお礼にあり、地元音楽家・作曲家の森田浩二さんに、お話を伺う。



市民ライターが情報を発信！

編集者・ライター・取材相手・読者との関係の「近さ」が特徴



なんで「森」ノオトなの？

人の暮らしを「森」に見立てているから



メッセージ

森では、いろいろな生き物が共生しています。

木、草花、虫、鳥、小動物、そして土の中の微生物、
太陽の恵み、大地の慈愛、水のめぐりもりを享受しながら、
あらゆらいのちが調和し、ほどよい環境を築いています。

わたしたちの暮らしは安全で、東は、森のようなものではないでしょうか。

今は、便利さや快適性、そしてお宝と引きかえに、さまざまな環境問題や貧困、健康などが生じ、時に生きにくさを感じる時代でもあります。

だからこそ、人と自然が共生する社会を取り戻し、新しい生き方をつくってあげようとする運動が、全国あちこちで高まってきています。

きあ、「森の音」に耳を傾けてみましょう。

生や鳥たちのささやき、風の声、苔葉の芽吹き、鈴聲……

森から聞こえてくるさまざまな音に、生きる知恵を学ぶことはできないでしょうか。

森の音に気づきを得たら、ぜひ「森ノート」に書き留めてください。

日々、よりよくなることの積み重ねが、未来を持続可能なものに変わってゆきます。

まずは、自分の身近なところから。
 道も汚なくとも、庭下の土を耕すことはできます。
 地域に出て、人となつた日。想いあるモノを置け。
 新しい楽しいことが毎日のように生まれるまち。
 大都市・横浜から徒歩5分。身近な緑。土。水。そして人の笑顔。
 「森のつとめ」をあなたのプラットフォームにしてください。
 地域で「エゴの園」を見つけ、育てる暮らしを始めませんか。

森からはじまる LIFE & WORK

森と暮らしをつなげるローカルメディアの役割



私は「風」のように
情報を運ぶ、届けることを
意識しています！

私たちは「つながり」の中で生かされている

- ・ 私たちが発信する情報は、社会や未来をよくすることにつながっているのか？
- ・ その情報は、持続可能な未来につながっているのか？
- ・ 環境・経済・暮らし……3つの持続可能性、どれがかけても私たちは生きていくことができない
- ・ 活動が持続可能であるために、仲間を増やしていこう！



SDGsの視点を持つ



<環境・社会・個人の持続可能性>

- ・ 気候危機や資源、生態系の変化による環境の危機
- ・ 少子高齢化、人口減少、貧困・格差などの社会の危機
- ・ 家族関係の変化や社会への不寛容などの個人の危機



<持続可能性の危機を「じぶんごと」に>

- ・ Think Globally, Act Locally.
- ・ 情報発信により身近な問題として落とし込む
- ・ 市民ライターの育成、情報との「親密感」
- ・ 情報源への「近さ」が行動の「近さ」に
- ・ 「主体性」をもって判断、選択、行動する

森ノオトのローカルメディア事業

地域の課題や魅力を知り、情報として可視化する社会教育プロセス

情報発信に関わる全ての人が
メディアリテラシーを育み
自らの情報を見つめ直す行動指針

ローカルメディアコンパス

ローカルメディアミーティング

すでに情報発信をしている人の
学びと対話と気づきの場

ローカルライター講座

情報発信で地域をよくしたいと
考える人の学びの場

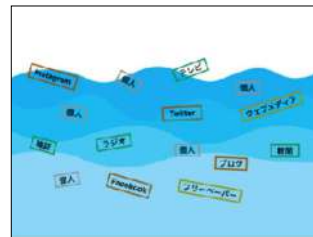
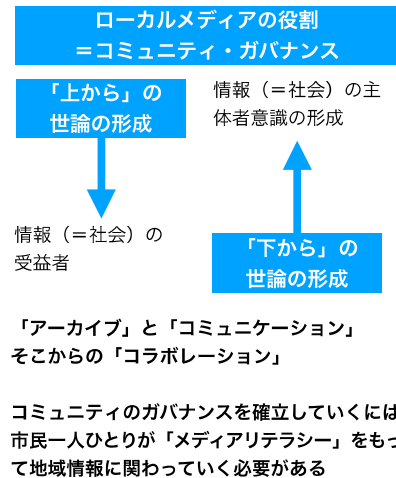
発信力UP講座

地域課題を解決したいと活動
している人が発信力を高める

読者・市民

地域情報によって地域参画・主体形成をし
地域活動の担い手になるプロセスづくり

ローカルメディアの役割＝コミュニティのガバナンス「地域編集」



「森」への関心を高めるには「森」を語らない！



ボランティア活動の課題

活動層の高齢化、担い手不足、活動の持続可能性に課題！

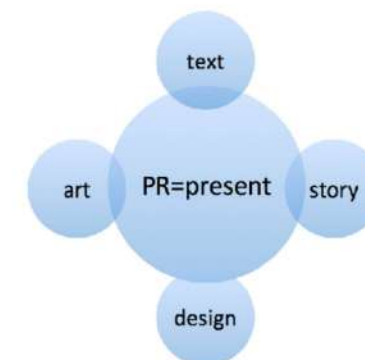
- ・ 全国どこでも同じ課題！
- ・ 森づくり／自治会・町内会活動／地域の緑化・美化活動／子育て支援活動／地域の見回り活動／若者支援／外国につながる人の支援……



いかに活動そのものの「価値」「楽しさ」を伝えていくか？

活動を持続可能にするには？

活動の魅力を伝えるために、発信力を高める必要性



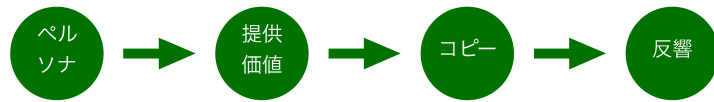
PR= Public Relations

PRなくして事業なし

PRとは事業そのもの

反響が活動のモチベーションに！

ボランティア活動の最高の報酬は、成果・効果・反響



なかまを作るプロセスの解像度を高めて、反響（成果）を出す

・だからこそ、相手を知ること

より、深く仲間になってほしい組合員と、直接話をする機会をつくる事業（イベント/企画）を提供して終わり、ではなく、より深く相手と話をする、インタビューをする機会をつくる



マーケティング視点の醸成

広報には「戦略」が大切！

到達目標：団体の「ビジョン」をもとに「ミッション」を達成！

広報とはプロジェクトマネジメントである！

（そのために）イベントの集客をしたい

- ・どんなツールを使う？（HP、SNS、チラシ、声かけ）
- ・顧客（ターゲット）は誰？どこにいる？
- ・誰がスケジュール管理をする？ 情報はどこに集める？

何のためのイベントか
企画の元をつくる

- ・日時
- ・会場
- ・参加費
- ・ターゲット
- ・広報手段

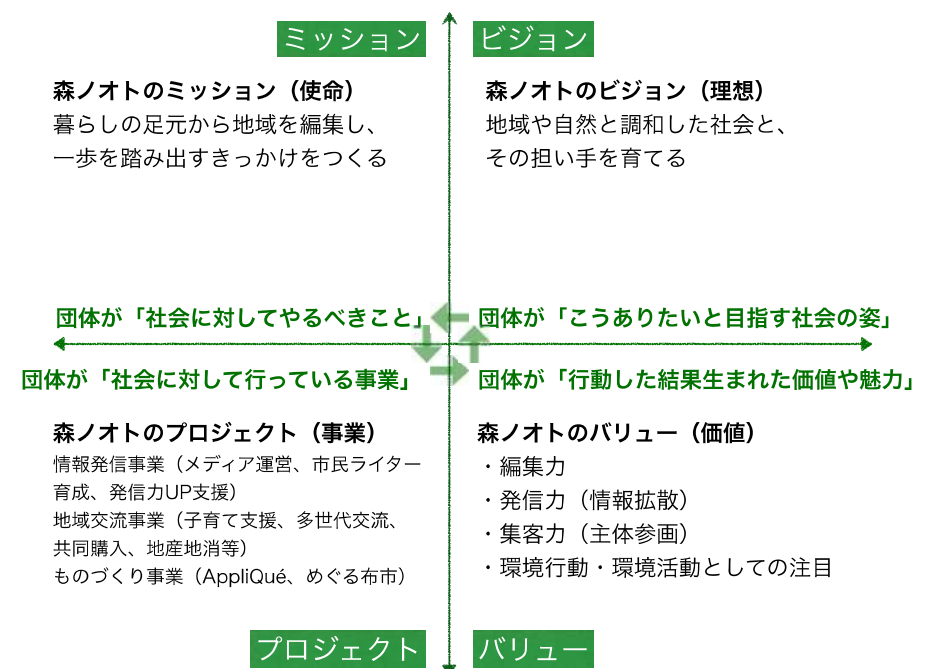
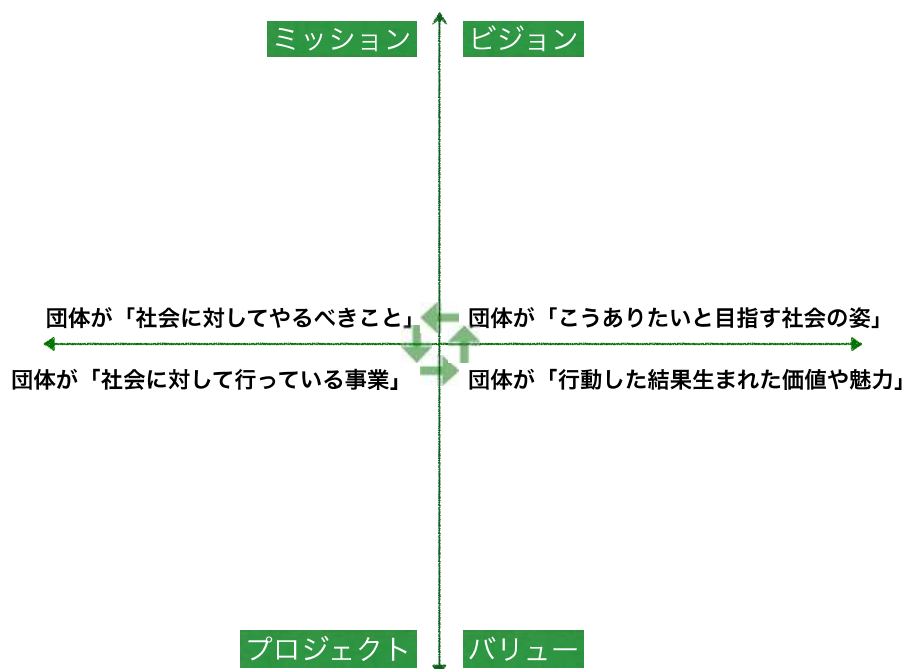
インターネットを使った空中戦

- ・Webの元に情報を集める
- ・SNSで拡散

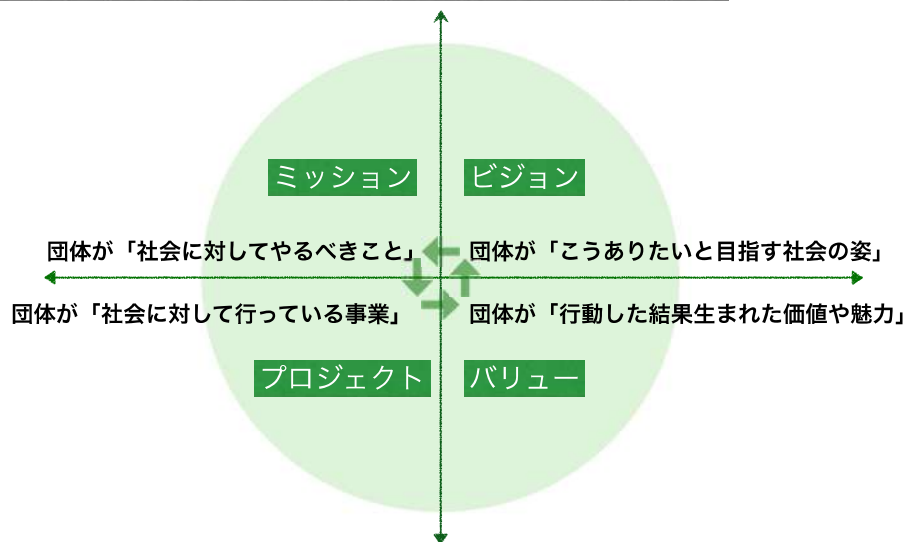
リアルな口コミを広げる地上戦

- ・チラシ配布先リストアップ
- ・協働事業者との調整
- ・ボランティア調整

広報に
「近道」
はない！
地道な活動
一つひとつが
成果になる！



このループをていねいに見せ続けることが発信力向上につながる！



情報発信 ⇄ ニーズの聞き取り、でもある。

情報はキャッチボール！

情報発信は、究極のアウトリーチでもある



ボランティア活動の魅力を効果的に発信するとは？

What (何を発信するのか？)

→自治会の活動や魅力

How (どのように)

→効果的に発信する

効果的とは？ →伝えるべき相手に確実に届くこと

→発信した情報が届いているとわかること（反響）

→効率的に発信できること



Why (なぜ)

→そもそも、なぜ森づくりの活動を発信するのか？

環境：生活の基盤である

森が守られないと、暮らしが守られない

美しい里山環境は、心の癒しになる

Whyがおろそかになると
伝えるべき情報も
内容も届かない！
ただの作業要員に
なってしまう！

When (いつ)、Where (どこで)、Who (誰が)

反応・反響をはかる指標を意識する

目的によって反響は異なる

例) イベント：参加者数

どんな人が何人来てくれたら成功とするのか？

目標・指標を設定する

△老若男女誰もが来てほしい、構成員のみんなに来てほしい

◎これまで参加の少なかった若い世代に来てほしい

→イベントの設計自体が変わってくる

例) 寄付系

任意：募金：集まった金額

△ネットに情報をアップするだけ

→風まかせで致し方ない

◎顔の見える一人ひとりに「なぜ」寄付が必要か

手紙（メッセージ）を書く

→活動理念への共感



自分たちだけでがんばりすぎない！

仲間を増やすことで発信の相乗効果をねらう



アウトドア

キャンプ好き
バーベキュー好き
ワイルドテイスト



森あそび

子育て
環境
ナチュラルテイスト

コラボにより双方のファンが広がる

morinos（岐阜県森林総合教育センター）

圧倒的な情報量と実績！ もはやメディアです！



- ・森のプロとしての発信が素晴らしいです。余人には真似しがたい領域！
- ・情報の動線整理が明確です。利用者の関心に応じて入口が複数整備されています
- ・求心力も遠心力もあると思います。テーマ性も高く、入口も広い
- ・ローカルからグローバルに発信しうる、やさしく温かいデザインですね！

圧倒的な力がありますね！
私たちも見習いたいくらいで
morinosさんの広報戦略を
じっくり聴く機会を
つくりたいくらい……

熱海キコリーズ

代表が積極的に顔を出しているのがGood！ 応援したくなる



- ・代表がキュート！ 女性が中心となった森林保全活動という「意外性」が、活動の間口を広げることに貢献しています
- ・活動名も明確でわかりやすいですね！
- ・2021年1月以降更新が止まっているのが気になります。活動を知った人の「今」を逃さないように、小さくても細々と発信を継続するとよいですね

支援者を集める活動は、その後の報告やコミュニケーションが裾野を広げるうえでとても大切です。
新たな担い手づくりに貢献しているのでより発信を強めていきましょう！

西伊豆古道再生プロジェクト

動画、メッセージ、どれも一流！カッコいいです！



- ・HPを見ただけでワクワク、心惹かれました。利用してみたいくなります
- ・動画で訴求していくのは今の主流ですね。新規開拓に向けた仕掛け、戦略は万全です
- ・「メッセージ」は十分！ 次は利用者目線が知りたいです
- ・活動自体が「森」の可能性を広げていると思います。社会性もバッチリ！

若い世代の活動として魅力的！
旧世代の人たちとの関わり、交流、
泥くさが見えてくると、
なお地に足ついた感じがします

滝谷里山保全の会

タイトルが活動を体現！ 今は紙媒体回帰の時代です



活動の支援者（内部）に向けての報告としては、とてもよくできています！活動を広げる、次世代の担い手を増やすための発信を検討していきましょう

- ・「土・水・木 通信」というタイトルが、活動で大切にしていることを伝えていきます
- ・ページ割りは単調ですが、伝えるべきことが明確で、わかりやすいです
- ・「やること」「やったこと」だけではなく、活動者の顔やメッセージが滲み出てくると、より親しみを感じやすくなると思います
- ・写真のメリハリがGood！ 引き＝全体的様子がわかる、寄り＝詳細がわかる、のメリハリがありますね。写真の大きさを変える（大きな写真を使う）などすると、より紙面がダイナミックに！

情報発信の原点回帰：「紙媒体」の重要性

WebやSNSをやれば若者は情報を見してくれる、の誤解

- ✕ Webに情報をアップしただけでは、見てもらえない
- チラシをつくって印刷して、紙が会場に届いたのと同じ状態
- WebやSNSの読者や、LINEの登録者数を増やす努力が必要！

紙の情報、特に全戸配布は、究極の「プッシュ型」！

スマホを持っていない/使えない人、高齢世帯にも確実に届く
まずは「つくる情報の魅力度」をアップしていく必要がある

ネットが得意な人がいたら、ネット発信も始めよう

ネットに情報をアップしておけば、いつでも誰でもみられる
常に必要な情報が更新されておく必要がある
地域情報、個人情報のセキュリティは要検討



ウェブを活用する場合でも「紙」の編集が大事！

月1回 会報誌編集会議

巻頭メッセージ

自治会費徴収

予算・決算

地域課題

廃品回収等

連載コラム

イベント情報

敬老会

子ども会イベント

防災訓練

夏祭り

Webの母艦に
情報を入れる

登録なしでも見られる
検索できる
会報の情報のWeb上の置き場



プッシュ（企画）を
抽出してLINEに



敬老会

子ども会イベント

防災訓練

夏祭り

登録者には確実に届く媒体
登録者を増やしていくことに注力！

必要時にFace to Face

伝わる文章は「森」のようなもの

最も伝えたいポイントを軸にして、枝葉で広げる



- ・「幹」を太く、わかりやすく
- ・「根っこ」は背景、環境
- ・「枝葉」は広がるエピソード、修飾表現
- ・「生態系」で地域に広がる未来や展開をイメージさせる

さあ、みなさんも「森」のように
風と鳥と仲良くなって
未来に情報を運んでいきましょう！

「森」のような情報発信学びませんか？

オンラインの勉強会/情報発信相談会を開催しています！

- ・ 森ノオトマンスリーサポーター（月500円〜）特典
隔月：地域活動、コミュニティデザインに関する読書会
隔月：情報発信相談会
（文章、表記、著作権、プレスリリースなどテーマを設けた相談会の実施）
- ・ 一般の方の参加も歓迎（参加費500円〜1000円）



西伊豆古道再生プロジェクト

株式会社ベーストレス(BASE TRES)



代表 松本 潤一郎

山と海とを循環させ【西伊豆をまわす】



活動場所 松崎町・西伊豆町

活動内容 森林整備・宿泊事業・アクティビティツアー

沿革

2012年

使われなくなった古道を再生、西伊豆に新しい山の観光を！

パートナーシップ

松崎町

構成員数

3名

関係人口

20名

2013年

マウンテンバイク YAMABUSHI TRAIL TOUR 開始！

サイクルショップ、アウトドアショップ

5名

500名

2018年

宿泊施設 LODGE MONDO -間土-開業！

サイクルショップ、アウトドアショップ

8名

2000名

2021年

伊豆の山と海とをつなぐカヤックフィッシングツアーをスタート！

サイクルショップ、アウトドアショップ

10名

2200名

西伊豆古道再生プロジェクト

株式会社ベーストレス(BASE TRES)

2012年

使われなくなった古道を再生、西伊豆に新しい山の観光を！

パートナーシップ

松崎町

構成員数

3名

関係人口

20名

外部支援

丸高愛郷報徳会
伊豆トレイルランニング
レース実行委員会
MTB愛好家



西伊豆古道再生プロジェクト

株式会社ベーストレス(BASE TRES)

2013年

マウンテンバイク YAMABUSHI TRAIL TOUR 開始

パートナーシップ

サイクルショップ
アウトドアショップ

構成員数

5名

関係人口

500名

外部支援

静岡銀行(しずぎん起業家大賞最優秀賞)
自転車メーカー
自転車販売店



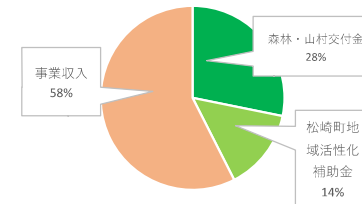
林野庁 森林・山村多面的交付金の活用状況

※単位のないものは金額

	1年目 H25 2013年	2年目 H26 2014年	3年目 H27 2015年	4年目 H28 2016年	5年目 H29 2017年	6年目 H30 2018年	7年目 R1 2019年	8年目 R2 2020年
活動推進	150,000							112,500
里山林保全 (ha)	2,3ha	17,3ha	17,3ha	15,0ha				
侵入竹除去・竹林整 (ha)								
森林資源利用 (ha)	2,3ha	4,5ha	4,5ha	2,0ha	15,4ha	15,4ha	15,4ha	4,5ha
森林機能強化 (m)			700m	1200m	2000m	250m	1000m	
その他	3回	12回	12回	12回	12回	6回		
合計	1,036,000	4,088,000	4,788,000	4,520,000	3,904,000	2,276,000	2,648,000	652,000
資機材・施設の整備	213,000	208,000	129,000	118,000	16,200			
総合計	1,249,000	4,296,000	4,917,000	4,638,000	3,920,200	2,276,000	2,648,000	652,000

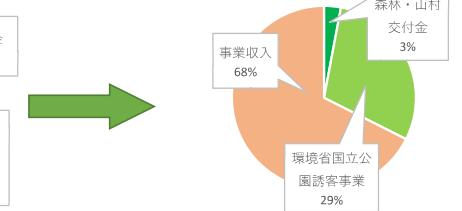
2017年(H29)収入額

13,920千円



2020年(R2)収入額

22,000千円



西伊豆古道再生プロジェクト

株式会社ベーストレス(BASE TRES)

2019年

宿泊施設
LODGE
MONDO
-開土-開業!

パートナーシップ
サイクルショップ
アウトドアショップ

構成員数

8名

関係人口

2000名

外部支援

クラウドファンディング
ツアー参加者
ボランティア



5

西伊豆古道再生プロジェクト

株式会社ベーストレス(BASE TRES)

2021年

伊豆の山と
海をつなぐ
カヤックフィッ
シングツアー
をスタート!

サイクルショップ
アウトドアショップ

構成員数

10名

関係人口

2200名

外部支援

環境省
国立公園誘客事業



8

19

西伊豆古道再生プロジェクト

株式会社ベーストレス(BASE TRES)

持続・発展の 重要ポイント

■マウンテンバイクを前面に出さない
主役は『古道再生』

■だれもやらない、やれないと思っ
ていること

■本質的なサービスを適正な価格で

■自然環境を利用した仕入れゼロのビ
ジネス



滝谷里山保全の会

NPO法人 林 林
不動峽山の市

NPO法人 林 林 林

不動峽山の市 滝谷里山
保全の会



代表 佐藤 政美

通称「滝ノ谷三山」菩提山、笠張山、高尾山の山裾560haを地権者、地元民、街場民、三者が協力し里山としてよみがえらせたいと思っています。



活動場所 藤枝市滝谷

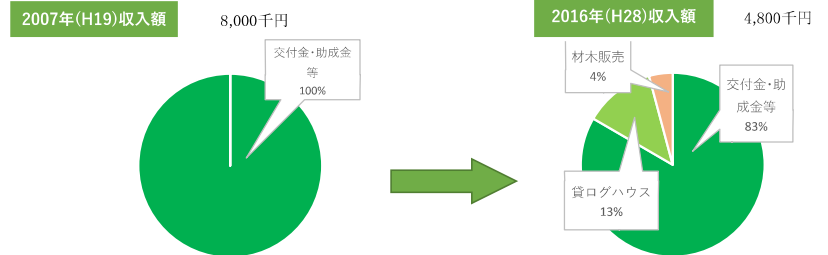
活動内容 ●里山保全 ●地元の産物販売
●ログハウス会場レンタル ●MTB/ルート開設

沿革	1998年	2004年	2009年	2019年
	荒廃した川の上流部を整備したい!	森林整備事業を確立したい!	ログハウスを地域の交流拠点にしたい!	森林スポーツで関係人口を増やしたい!
パートナーシップ	滝ノ谷地区住民	森林組合おおいかわ	にしきのクリニック患者会	マウンテンバイク同好会
構成員数	5名	10名	15名	6名
関係人口		20名	450名	1,000名

林野庁 森林・山村多面的交付金の活用状況

※単位のないものは金額

	1年目 H25 2013年	2年目 H26 2014年	3年目 H27 2015年	4年目 H28 2016年	5年目 H29 2017年	6年目 H30 2018年	7年目 R1 2019年	8年目 R2 2020年
活動推進	150,000							81,100
里山林保全 (ha)	1.2ha	1.2ha	1.2ha	1.4ha	0.9ha	0.9ha	0.1ha	2.9ha
侵入竹除去・竹林整 (ha)	0.7ha	0.7ha	0.7ha	0.7ha	0.7ha	0.7ha	0.7ha	
森林資源利用 (ha)	0.9ha	0.9ha	0.9ha	0.9ha	2.3ha	2.1ha	2.1ha	
森林機能強化 (m)						250m	349m	136m
その他						2回		
合計	752,000	592,000	601,000	592,000	455,500	614,600	655,200	537,900
資機材・施設の整備	250,000	287,000	103,000	152,000			2,800	
総合計	1,002,000	879,000	704,000	744,000	455,500	614,600	658,000	537,900



滝谷里山保全の会

NPO法人 林 林
不動峽山の市

趣味の峠越えジョギング中
川の上流部が目に付くように

森林ボランティア団体
「樵の会」に所属。整備し
たが食い止められない

1998年 (H10)

荒廃した川の上流部を整備したい!

パートナーシップ
滝ノ谷地区住民

構成員数

5名

関係人口

外部支援



川の荒廃をなんとかしたい!



仲間を募集
山を歩くところからスタート

河川だけでなく森林を保全しないと!



森林ボランティア団体
「樵の会」に所属。整備し
たが食い止められない

地域に信頼されたい!

地域住民との対話が
スムーズに!

本格的な森林整備事業に発展

地域のキーマンの信頼を得るため
履歴書を書いて持ていった

公的な補助金制度の
対象者として認められるように



滝谷里山保全の会

NPO法人 林 林
不動峽山の市

2004年 (H16)

森林整備事業を確立したい!

パートナーシップ
森林組合おおいかわ

構成員数

10名

関係人口

20名

外部支援

藤枝市竹林対策事業
静岡県森の力再生事業
日本財団
静岡県緑化推進協会

森林組合おおいかわ指導のもと
地権者3名・地元作業員4名・森林ボラ
ンティア団体会員3名で週末整備

公益的な事業として地域に活動が見えるように



2005

藤枝市竹林対策事業



2006~

静岡県森の力再生事業



竹炭生産のための炭窯



街のキーパーソンとの出会い

滝谷里山保全の会

NPO法人林 林 林
不動峽山の市

間伐材の活用

2009年 (H21)

ログハウス
を地域の
交流拠点に
したい!

パートナーシップ

にしきのクリニック患者会

構成員数

15名

関係人口

450名

外部支援

国土緑化推進機構
セブンイレブン助成

森林・山村多面的機能
発揮対策交付金

2009年
(H21)
スタート

街の熱意

にしきのクリニック患者会
患者のリハビリと交流

地域の熱意



ログハウスの建設過程もまるごと
街と地元地域の交流の場に!



ログハウス運営はクリニックが担う
医療相談会やジャズ演奏会など

2015年
(H27)
完成

滝谷里山保全の会

NPO法人林 林 林
不動峽山の市

2019年 (R1)

森林
スポーツで
関係人口を
増やしたい!

メンバーシップ

マウンテンバイク同好会

構成員数

6名

関係人口

1,000名

外部支援

森の力再生事業
セブンイレブン助成

森林・山村多面的機能
発揮対策交付金



作業道以外に活用したい!



既設の林道と接続するため500mを延長。
オフロード1.5km、周回で4.6kmの
森林スポーツコースを開設。

ノルディックウォーキングにも活用



滝谷里山保全の会

NPO法人林 林 林
不動峽山の市

街と地域を繋げ、
人と人の
交流が生まれるように

持続・発展の
重要ポイント

「相手目線」

自分たちのやりたいことではなく、常に地元の要望に応えた
早期退職したとき、それまでの生き方を一度捨て去った



活動報告や
御礼を欠かさない



社会的信用を
大事にする



キーパーソンを
見極める



NPO法人熱海キコリーズ概要



代表 能勢 友歌（のせゆうか）

間伐材は劣等木が多く、周囲の木がのびのびと生るために伐られていく存在。そんな縁の下の力持ちの間伐材たちに付加価値をつけてゆきたい！



活動場所

熱海市姫の尾、自然郷(市有林)、紅葉が丘(民有林)、伊豆山(災害支援プロジェクト)

活動内容

『熱海の森に新しい風を』をミッションとして森林保全をしているNPO法人。活動を通して「持続可能な林業活動」や「地域復興の実現」を目指しています。

2016年

沿 革

研修を受けた仲間です
スキルアップしたい！

2017～2019年

熱海市に還元できるような活動を実施したい！

2020～2022年

NPO法人化！
応援してくれるファンとの絆を強めたい！

パートナー シップ

熱海市役所

熱海市役所・自伐型林業協会
自然郷管理会社

熱海市役所
民間の企業や団体

構成員数

14名

20名

21名

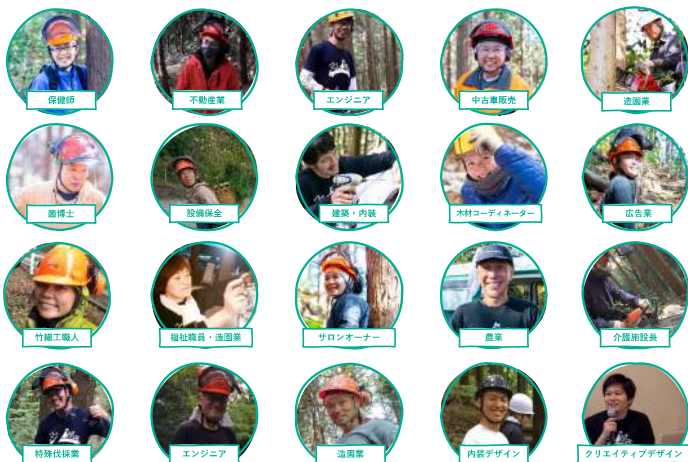
関係人口

イベント参加者：200人

イベント参加者：200人
クラファン支援者+サポーター
：297人+30人

NPO法人熱海キコリーズ概要

さまざまな本業を持ちながらの『副業キコリ』



NPO法人熱海キコリーズ概要

NPO法人熱海キコリーズは、熱海市の放置林を間伐し、森を守る活動を実施
間伐材を搬出・製材をし、熱海市へ還元する「地産地消な取り組み」をしている

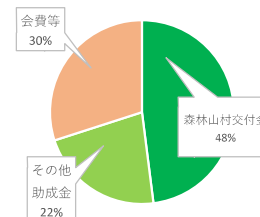


林野庁 森林・山村多面的交付金の活用状況

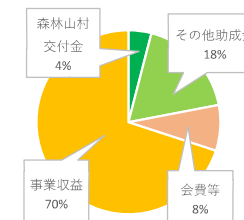
※単位のないものは金額

	1年目 H25 2013年	2年目 H26 2014年	3年目 H27 2015年	4年目 H28 2016年	5年目 H29 2017年	6年目 H30 2018年	7年目 R1 2019年	8年目 R2 2020年
活動推進					112,500			
里山林保全 (ha)					1.3ha	1.0ha	3.0ha	
侵入竹除去・竹林整 (ha)								
森林資源利用 (ha)								
森林機能強化 (m)								
その他						6回		
合計					268,500	348,000	360,000	
資機材・施設の整備					740,600		153,300	
総合計					1,009,100	348,000	513,300	

2017年(H29)収入額 ￥2,088,900



2020年(R2)収入額 ￥2,594,497



2016年：研修後に任意団体を設立

研修実施中は、こんな夢が膨らんでいました。今は現実になってきました。

2016年

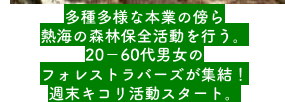
研修を受けた仲間間でスキルアップしたい！

パートナーシップ
熱海市役所・林業講師・デザイナー

構成員数
14名

関係人口
5名(サポーターズ)

外部支援
森林多面的機能



多種多様な本業の傍ら熱海の森林保全活動を行う。20～60代男女のフォレストラバーズが集結！週末キコリ活動スタート。



2016年から静岡県熱海市主催で開催された自伐型林業研修に参加したメンバーが、荒廃している森林の保全に対する意識が高まり、研修修了後に森林保全ボランティアの活動を行うための組織を任意団体として設立。最初はこのようにも続くと思っていなかった・・・笑

2017～2019年：間伐、そして造材・搬出・加工への挑戦

2017～2019年

熱海市に還元できるような活動を実施したい！

パートナーシップ
熱海市役所・自伐型林業協会・自然郷管理会社

構成員数
20名

関係人口
200名

外部支援
森林多面的機能
熱海市からの委託事業
企業CSR活動
間伐材加工品やグッズ販売

補助金をいただきながら「森林保全活動」の間伐活動をすすめる・・・
伐りっぱなし間伐をなんとかしたい！と思うように。



「持続可能な林業活動」

林業という間伐・主伐のみをする形態が多いですが、我々は間伐した材に、
【造材】【搬出】【製材】【加工】をし付加価値をつけることで、人々の暮らしに還元。
カラダにも自然にも負担のかからない優しいサステイナブルな林業に取り組み中。



「地域復興の実現」

多種多様な本業を持つ仲間たちで成り立つ、『副業きこり団体』だからこそ、間伐材の「熱海ヒノキ」にユニークな視点で付加価値をつけることを心がけています。

【モノ】としての間伐材に【コト】としての企画をつけて、形し、さまざまな形で「地域復興の実現」を目指しています。



熱海市内の姫の沢公園内の人工林を中心に間伐活動を行うとともに、伐採した間伐材を活用することを念頭に、造材・間伐材を用いた製品の販売やイベント参加および間伐を行った森における体験会など、周辺地域の住民に対するサービス提供や交流にも注力。任意団体設立から3年間が経過し、当初熱海市から森林保全活動の委託を受けた姫の沢公園の間伐活動の終了。森での体験活動会への参加は延べ200人を超えるなど一定の認知を得ることとともに、設立当初14人であったメンバーも20人を超えるまで増加。

2020-2022年：認知・信頼獲得し、資金調達にも挑戦！

2020年～2022年

2022年～2025年

2020～2022年

NPO法人化！応援してくれるファンとの絆を強めたい！

パートナーシップ
熱海市役所
民間の企業や団体

構成員数
21名

関係人口
イベント参加者：200人
クラファン支援者：297

外部支援
緑の募金事業
緑化推進事業
熱海市からの委託事業
企業CSR活動
間伐材加工品やグッズ販売
クラウドファンディング



姫の沢公園以外での間伐活動や、機材を用いた道作り、間伐材の搬出、および企業タイアップなど他の団体と協業した間伐材の製品サービス提供など活動の幅を目指すにあたり、より一層の知名度の向上、法人格としての信頼性の向上、資金調達の多様化を目指して、2020年4月にNPO法人化しました。

熱海・三信アートギャラリーにて、「熱海キコリーズ展」開催中！(1/12-2/18)



持続発展の重要ポイント

- ✓ メンバー内が全員森が大好きで、価値観が近い。
- ✓ 私利私欲でなく地域や周囲を想いやる人員で団体が構成されている。
- ✓ メンバー同士の意見を尊重しあい、フラットな関係性を築く。
- ✓ 熱海市内で信頼を得るために認知獲得できるような取り組みを。
- ✓ 本業以外人も多種多様なスキルや知識の持った仲間課題を解決。
- ✓ 設立当初のビジョンに常に立ち返り、我々がやるべきこと・できることをできる範囲で無理なく安全第一でたのしくやる。
- ✓ まず自分たちが楽しむ、喜ぶ。
- ✓ 森から得るもの、学ぶものが大きいことを知る。
- ✓ 地域住民の方との交流の機会を増やすことで関係人口を増加させる。
- ✓ 既存の概念にとらわれず、その人・場所にあった取り組みを模索する。